

小型二足歩行コミュニケーションロボット 「あるくメカトロウィーゴ」 介護分野での活用における実証実験を開始

～ロボットによる認知症対策実現に向けて～

株式会社リビングロボット(本社:福島県伊達市、代表取締役:川内康裕、以下リビングロボット)は、小型二足歩行コミュニケーションロボット「あるくメカトロウィーゴ」を中間市様(市長:福田健次)の協力のもと、介護施設に入居されている方とのコミュニケーションツールとしての活用を目指し、砂山デイサービスセンター・グループホーム砂山様(福岡県中間市、社会福祉法人二葉会、理事長 小林哲治)にて2021年10月より実証実験を開始します。

※本実証実験機(ロボット2台)については実証実験で得られた改善を適用した後、砂山デイサービスセンター・グループホーム砂山様へ寄贈致します。

リビングロボットが開発した「あるくメカトロウィーゴ」は全長13cm、重量230gの小型コミュニケーションロボットです。既に教育分野ではプログラミング学習用ツールとして、全国の小学校やイベント等での活用が開始されています。



あるくメカトロウィーゴ ©MODERHYTHM / Kazushi Kobayashi

導入事例：福岡県中間市

ロボット45台導入 6小学校各2コマグループ学習実施



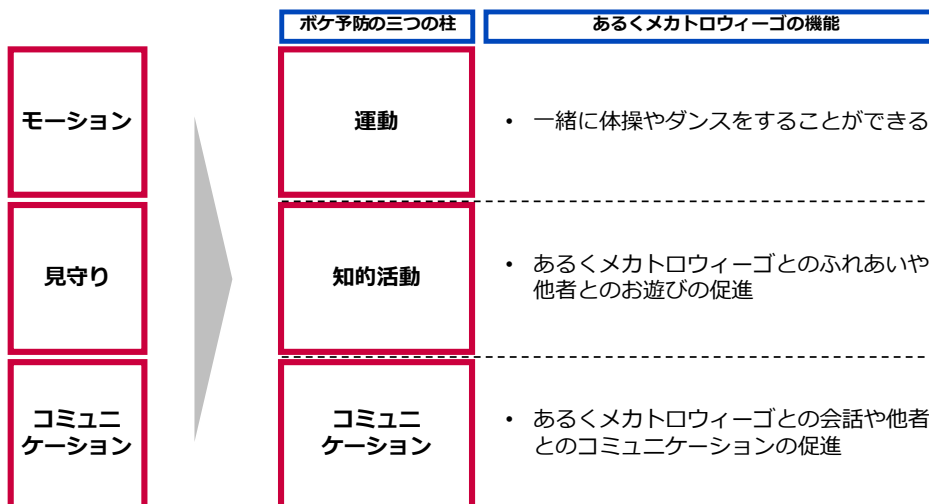
Living Robot Inc. Confidential

29

本実証実験では既に中間市の全小学校で導入されているプログラミング学習用ロボット「あるくメカトロウィーゴ」をベースに、新たに機能を追加し、介護施設入居者の話し相手や施設の方のコミュニケーションツールとして活用します。また、本ロボットは体操やしりとり等の機能も備えており、入居者に「運動」「知的活動」「コミュニケーション」を促すことで、ボケ予防の為のパートナーとしての役割も期待できます。

3. パートナーのいる暮らし

あるくメカトロウィーゴとの生活はボケ予防に大きく役立ちます。



Living Robot Inc. Confidential

10

本実証実験を通じて得られた成果をもとにロボットの改善を図り、今後は全国の介護施設への展開を進めてまいります。リビングロボットは本実証実験を通じてロボットの社会実装における有効性を評価するとともに、ロボットが社会貢献できる未来の実現に取り組んでまいります。

【実証実験概要】

- ・実証実施日 2021年10月7日(木)～2021年12月10日(金)
- ・実証場所 砂山デイサービスセンター・グループホーム砂山（福岡県中間市）
- ・実証内容 ロボットを活用した、ボケ予防のコミュニケーションツールとしての基礎実証
- ・使用台数 2台

【本リリースに関する報道お問い合わせ先】

株式会社リビングロボット 広報担当

TEL: 0942-88-2341

e-mail: info@livingrobot.co.jp